

サラリーマンは300万円で小さな会社を買いなさい

人生100年時代の個人M&A入門

File.2 あなたも0.14%の超富裕層に

文 三戸 政和 text by Masakazu Mito

日本では現在、純資産1億円以上5億円未満の「富裕層」が114万4000世帯あるそうです。約50世帯に1世帯が該当します。しかし、純資産5億円以上を有する「超富裕層」は7万3000世帯しかなく、全世帯のわずか0.14%。実に714世帯に1世帯の割合です。私が「あちら側の人間」とするのは、この「超富裕層」、または超富裕層予備軍のことです。上手に会社を買い、5年から10年経営すれば、あなたも富裕層、さらにその上、超富裕層に到達できる可能性が大きく開きます。

富裕層になりましょう、資産家になりましょう。そんなふうに行うと、やや前近代的な発想だと感じる人もいるかもしれません。今や、金銭的価値よりも「やりがい」や「自分の生き方」をいっそう重視する時代に突入しています。趣味を大切にしたい、やりたいことを仕事にしたい、というのが世の中のトレンド。私自身も、もちろんその方向を志向しています。

しかし、そもそもお金（資産）がなければ、人は生きていきません。まして、趣味に興じたり、生きがいに満ちた活動を十分に楽しむことができないのもまた事実です。

自分の好きな世界でひとかどの人物

になり、一生涯を通じて満足できる。自分のやりたい事業を実現して成功する。そうして人生を最後まで謳歌して死んでいけるといような人は、ほんの一握り。特別な才能や資産に恵まれた人に限られるでしょう。

私も含め、そうではない「普通」の人たちが、より自分の思い通りに生きやすくなり、かつ、そこまで大きなリスクを取らずに済むもう一つの方法として、「会社を買う」という戦略を提案したいのです。

サラリーマンは、たとえ社長に上り詰めたとしても、株主の意向に反して自分の好きなように経営することなどできません。しかし、雇われ社長ではなく、オーナー社長になったならば、生涯、楽しみながら暮らすのに十分な財産を蓄えることができるうえに、会社を、自分自身が仕事を楽しめるビジネスへと自ら導いていくことができる可能性が高まります。

そもそも、会社を買って社長になるのであれば、事業内容をよく見て会社を選択すれば、それだけでやりがいのある人生に近づくことができるようになります。

私は、日本をもっと元気にするためにも、社長に挑戦する方がどんどん増えて欲しいと願っています。そして、

それが可能な力を秘めたサラリーマンがたくさんいることを知っています。

それよりなにより、なんととっても「お金を儲ける」というのは、単刀直入でも分かりやすい目標になります。そこで、あえてこの金銭的に「豊かになる」という指標を前面に出しながら「社長のすすめ」を語っていきたいと思います。



「サラリーマンは300万円で小さな会社を買いなさい 人生100年時代の個人M&A入門」 (講談社+α新書) 定価907円(税込)

Profile

日本最大級のベンチャーキャピタル（運用総額1,500億円）にて、国内外の投資先に経営参画しながら、成長戦略、株式公開支援、M&A戦略、企業再生戦略などを行う。その後、兵庫県議会議員として、行政改革に着手後、地元の加古川市長選挙出馬のため議員辞職し出馬するも、落選。ロンドンにて神戸ビーフのプロモーション会社 Tajimaya UK の立上げを行い、従業員へ事業引き継ぎ。中小企業むけの事業承継・事業再生専門の投資ファンドである日本創生投資を創業。

